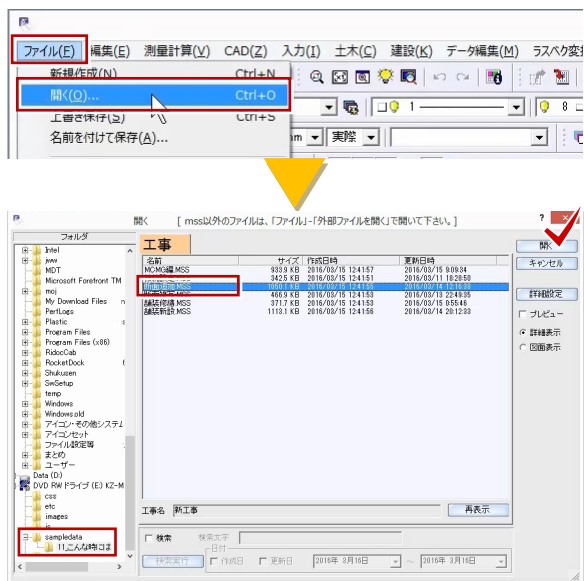


設計データ作成後の断面追加 (CAD 数値化)

ここでは、基本設計データ作成後に計画断面を追加する方法についてご説明いたします。

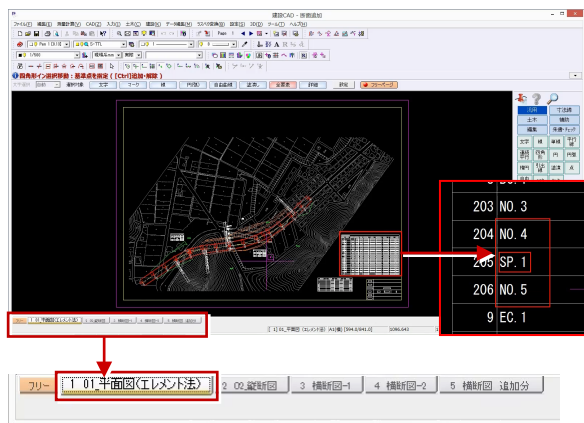
■ データを開く

メニューバーより、[ファイル] - [開く] を選択します。
開くウィンドウ左側のフォルダ一覧より、sampledata フォルダ内「11_こんな時には」フォルダを選択します。[工事] タブに表示された「断面追加.MSS」を選択後、[開く] をクリックします。



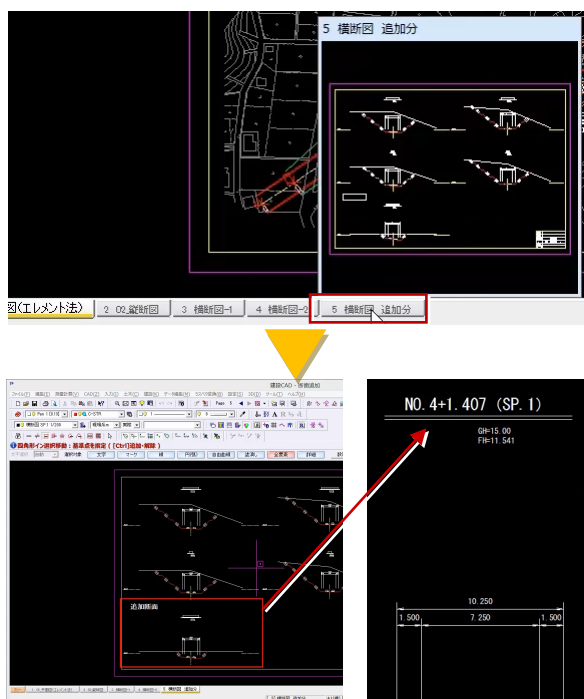
■ 断面の確認

1 ページ目の「平面図」を開きます。
右側に配置済みのチェック表を確認すると、「NO.4」と「NO.5」の間に「SP.1」と表示されています。
今回は、この SP.1 断面を追加してみましょう。



■ 断面の追加について

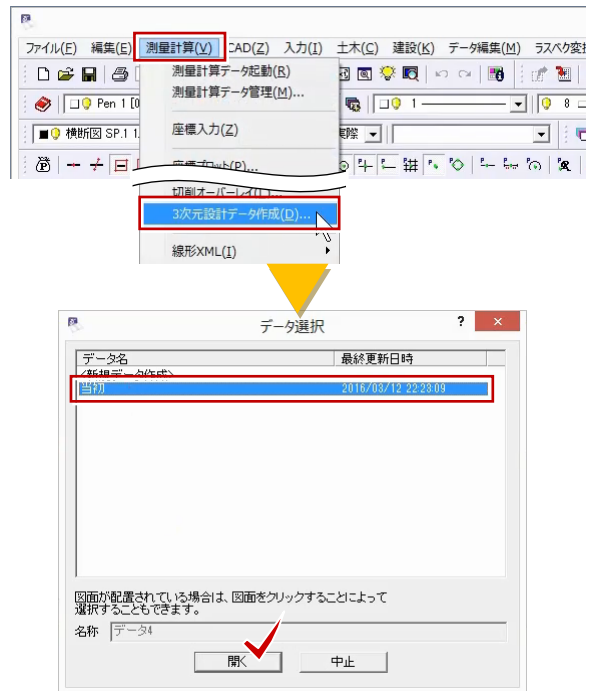
5 ページ目の「横断図 追加分」を開き、左下に追加断面「NO.4+1.407 (SP.1)」が配置されていることを確認します。



■ 3次元設計データ作成コマンド起動

メニューバーより、[測量計算] - [3次元設計データ作成] を選択します。

データ選択ウィンドウが表示されますので、作成済みの設計データ「当初」を選択し、[開く] をクリックします。



■ 断面の確認

作業ガイドより [横断] を選択し、画面上部の [編集] をクリックします。

断面編集ウィンドウが表示されますので、断面名、追加距離、計画データの有無を確認します。

NO.4 と NO.5 の間に、SP.1 が入力されていないことが確認できます。確認後、[キャンセル] をクリックします。



■ CAD 数値化コマンド起動

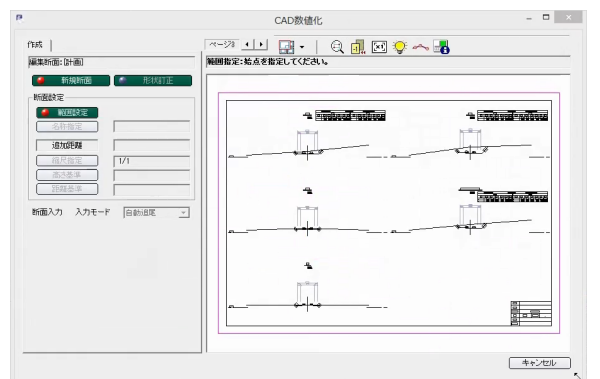
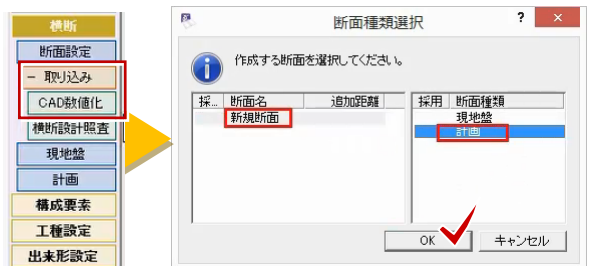
作業ガイドより、[取り込み] を選択します。

「5章図面照査」でおこなった、[設計照査] で断面の追加、編集したデータを取り込む場合には [横断設計照査] を選択します。

ここでは、1断面のみ追加するため [CAD 数値化] を選択します。

作成する断面、断面名「新規断面」、断面種類「計画」を選択し、[OK] をクリックします。

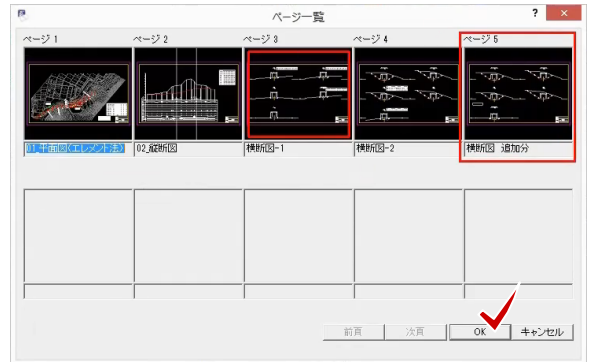
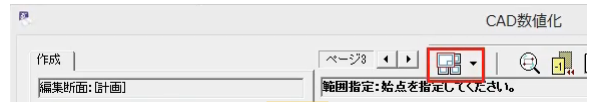
CAD 数値化ウィンドウには、横断図のページが表示されています。



■ ページ選択

追加する横断面のページに変更しましょう。

画面上部、[ページ一覧] をクリックし、ページ 5 「横断面 追加分」を選択後、[OK] をクリックします。

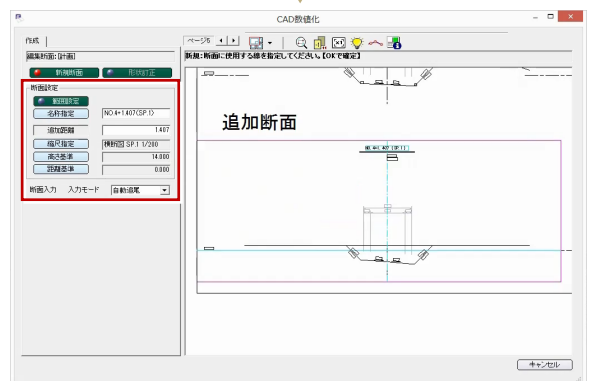
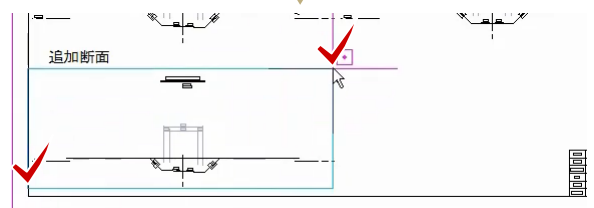
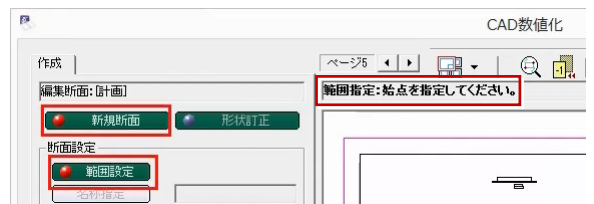


■ 範囲指定

画面左上 [新規断面] [範囲設定] が赤で表示され、選択されていることを確認します。

「範囲指定：始点を指定してください。」と表示されますので、追加する SP.1 断面の DL から断面名、左右の変化点が入るように、左下、右上を順にクリックし範囲選択します。

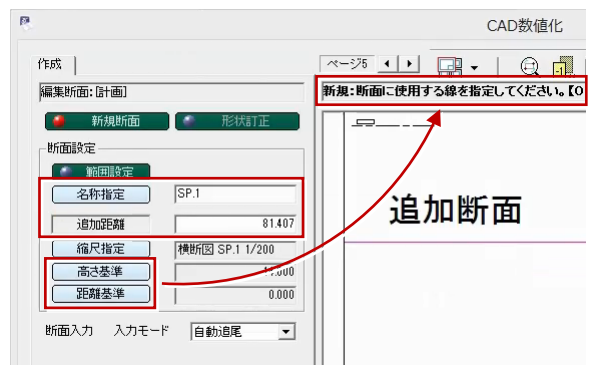
センターと DL に水色の基準線を表示し、断面名称や高さ基準などを取得します。



■ 内容の変更

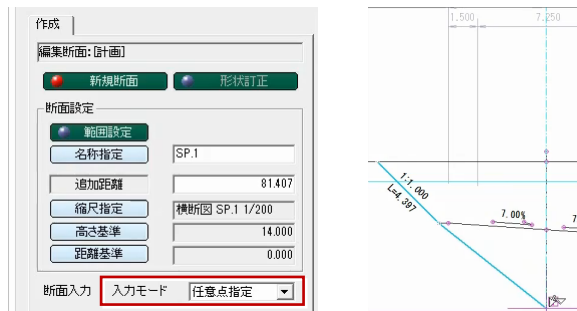
ここでは、断面名称を「SP.1」に、[追加距離] は NO 杭が 20m ピッチのため「81.407」に変更します。

[追加距離] を入力することで、線形内の挿入位置を確定します。取得したセンターや DL の基準が異なる場合には、訂正するボタンをクリックし、メッセージに従い操作してください。



■ 断面入力モード

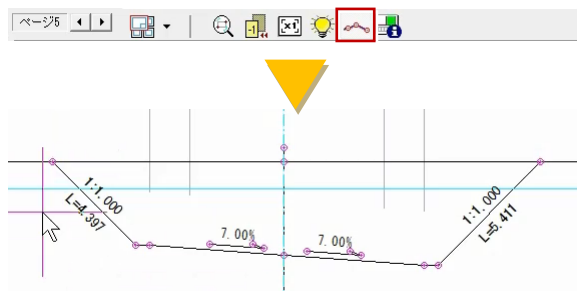
断面を入力するモード、今回は「任意点指定」を選択します。



■ 変化点表示

断面形状を拡大します。

計画線の変化点を確認するため、画面上部の「線の変化点を表示」をオンにします。



■ 断面入力

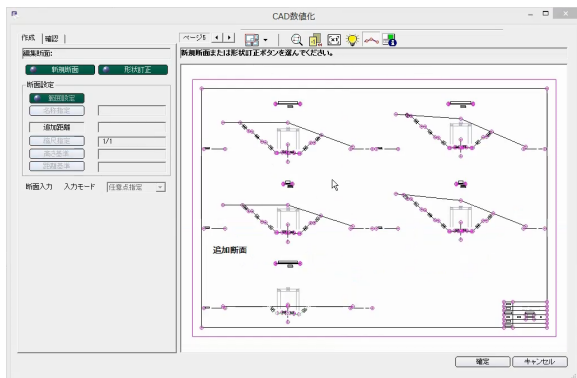
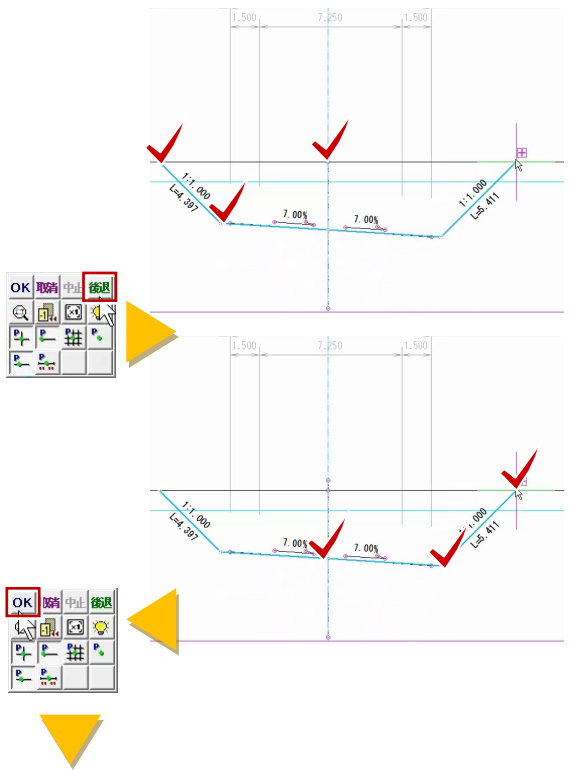
左断面法尻、法尻、センターをクリックします。

間違えた場合には、右クリック「後退」を選択し、再度選択し直してください。

また、線の変化点以外は指定できません。

右断面法尻、法尻の順にクリックし、右クリック「OK」を選択します。

形状が数値化され、全体表示に戻ります。

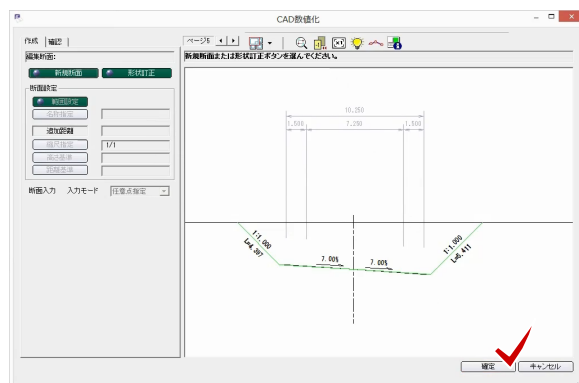
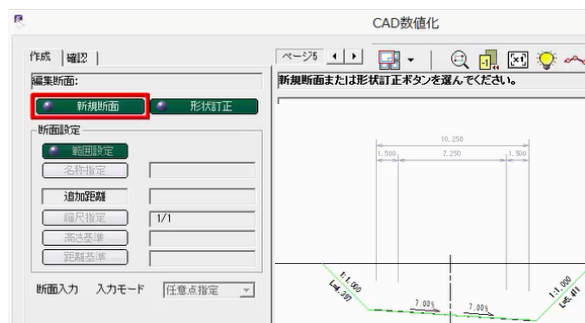
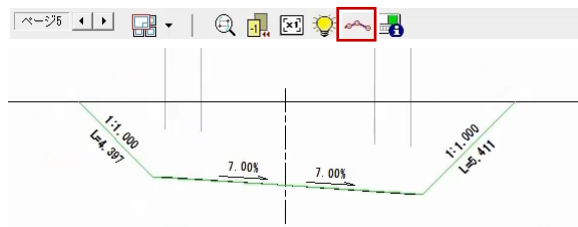


■ CAD 数値化の確定

「線の変化点を表示」を OFF に戻し、入力済の線が緑で表示されたことを確認します。

継続して作業をおこなう場合や入力後にやり直す場合には、左上「新規断面」をクリックし、同様の操作をおこなってください。

ここでは「キャンセル」をクリックし、CAD 数値化ウィンドウは「確定」をクリックします。



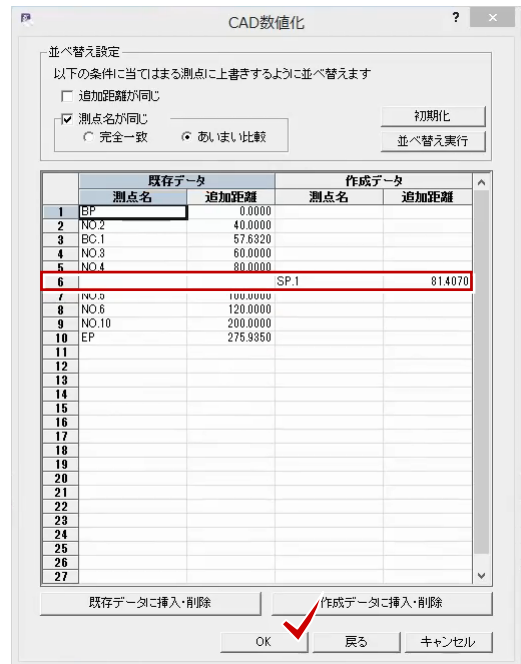
■ 並べ替え設定について

CAD 数値化：並べ替え設定ウィンドウが表示されます。

[既存データ] には入力済の測点名が、[作成データ] には CAD 数値化で入力した測点「SP.1」が表示されています。

SP.1 には追加距離を入力したため、既存データ NO.4 と NO.5 の間に表示されています。

ここでは、SP.1 が挿入される行として既存データ 6 行目に行が挿入されていることを確認し、[OK] をクリックします。

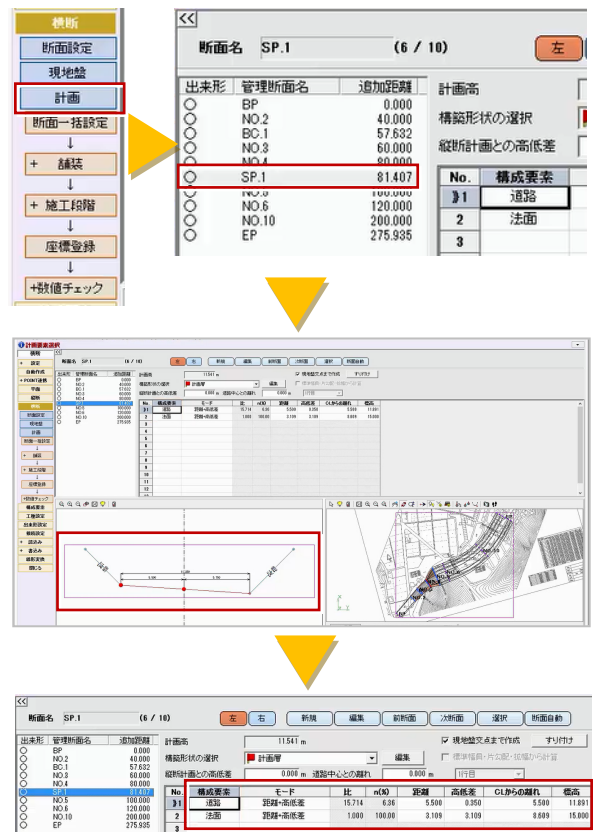


■ 構成要素の確認

作業ガイドより、[計画] を選択し確認しましょう。

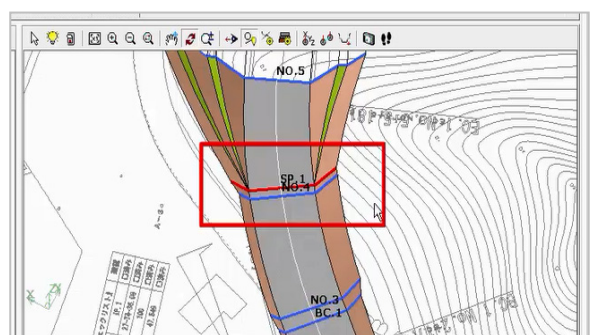
断面一覧より、「SP.1」を選択します。

プロット画面に形状が表示され、指定した変化点の距離、標高などが入力されています。また、[構成要素] に「道路」や「法面」と入力されていることが確認できます。



■ 3D 形状の確認

3D モニタでも確認しましょう。



■ 各種設定について

追加した断面では、工種や計測箇所の設定が必要になるため、作業ガイドより「工種設定」[出来形設定]をおこなってください。

設定方法については、「9章管理項目設定」をご確認ください。

また、前後の断面形状により接続線の設定が必要な場合には、本章「接続線設定」をご確認ください。

設定後に、作業ガイド「書込み」から各形式に出力をおこないます。

以上で、基本設計データ作成後に、断面を追加する方法についての説明を終了いたします。